



未来のわたしに
今のわたしが
できること



個人・企業のヘルスリテラシー向上と日本の8割の雇用を支えるローカル経済圏でのフェムテック普及展開の仕組みの構築に向けた実証事業

株式会社陽と人（ひとびと） 福島県国見町

デリケートゾーンケアブランド『明日 わたしは柿の木にのぼる』



1 私たちのフェムテック製品「明日 わたしは柿の木にのぼる」について



柿にまつわる古来の知恵に着目した、デリケートゾーンのケアブランド

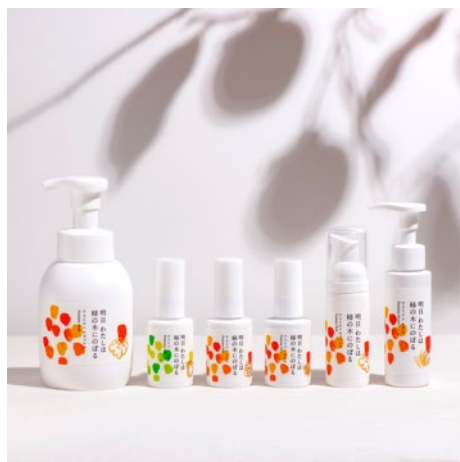
「明日 わたしは柿の木にのぼる」は、柿にまつわる古来の知恵に着目したデリケートゾーンケアブランドです。福島県国見町のあんぽ柿製造工程で廃棄されていた柿の皮から抽出した成分を活用することで、地域の持続的な発展も目指しています。



寝不足、不規則な食生活、疲労、免疫力の低下など、私たちの生活の乱れによって、デリケートゾーンの菌のバランスが崩れ、それがおりものの異常やかゆみなど、デリケートゾーンに症状としてあらわれます。

そのため、デリケートゾーンは「自分の心とカラダを知るバロメーター」になります。

1日10秒でもデリケートゾーンケアを通して、全ての女性のご自身をいたわるきっかけになりますように。



あんぽ柿の生産過程で廃棄されていた資源（柿の皮）を製品の主原料に使用。
そして生き生きと輝く女性をエンパワメントする製品をつくることで、社会へ還元します。
循環する社会の実現へ向けた活動を止めません。

Policy

わたしたちのポリシー



月経、妊娠、出産、更年期、閉経、そしてニオイや乾燥といったデリケートゾーンのトラブルなど、女性特有のさまざまな悩みに寄り添います。



high quality

石油系界面活性剤をはじめ、防腐剤や鉱物油も無添加。
厳選した植物由来成分*を用いたシンプルな処方により、国内工場にて製造を行っています。

心も、カラダも、生き方も、これまで歩んできた道のりが、今のわたしを構成している。わたしが選んだものすべてが、未来のわたしをつくっていく。

人生は選択が続くけれど、いつも「正解」なんてでせざるわけがない。失敗だって愛嬌。つまずいたら、立ち上がればいい。疲れてしまったら、休めばいい。

どんな時も、わたしらしく。わたしはわたしを、愛しつづけていたい。自然体でいられれば、毎日を笑顔で過ごせるから。

前を向いて、空を見上げて、木にのぼる自由が、わたしにはある。

- 「ヘルスリテラシー」「フェムテック」。昨今よく耳にする言葉です。本当はこれらは、私たちが健康な毎日を過ごすために誰しも必要不可欠な概念ですが、体調を崩してから問題意識を持って知る、地方ではタブー視されていてそもそも言葉も認知されていないなど、どうしても日常の中で自分ごとにできないため、情報へのアクセスができなかったり、正しい知識を知る機会に出会えなかったりしている現状があります。そう、「一部の関心のある方」しか知らないし、アクセスしようと思えないのです。
- 私たちは、この状況を改善したいです。**都会も地方も大企業も中小企業も、日本の全ての人たちが女性の身体に関する正しい知識を持った上で、自分で選択できる、パートナーと話せる、身体を害さないで仕事ができる、そんな社会をつくりたい。**
- そして、デリケートゾーンケアブランド（『明日 わたしは柿の木にのぼる』）という導入ハードルが高くない「日常のケア」製品を持っているからこそ届けやすい情報もあると思います。また、福島という地方に根付いた企業だからこそ地方で連携して取り組むことができる環境があると思います。
- だから、私たちがこれらに取り組むべきだと考えています。

ヘルスリテラシーにアクセスすべき女性が
知らない現状の改善

東京と地方の情報・製品・サービス
アクセス格差改善

Concept: 未来のわたしに今のわたしができること

※コンテンツには「ヘルスリテラシー」や「フェムテック」という言葉は使用しない。
マジメ一本ではなく、遊びを入れた「楽しい」「面白い」「ワクワク」を入れ込む。

3 取り組み概要と実施してきたこと



知る・興味を持つ



- フェムテックに関心がなくても日常生活で知ってもらえるよう、日常品店舗や生活関連施設との連携した取組の実施。エステ、マッサージなど、未病者が利用する施設との連携した取組の実施。など
- 上記のような施設でお客様にヘルスリテラシー向上に資する情報をお伝えできるよう、店舗人材育成プログラムの制作。
- 「明日 わたしは柿の木にのぼる」で培った知見やデータも活かして、女性の身体と心にまつわる科学的根拠に基づいた基礎情報を小冊子（無料配布）として作成。
- 企業への福利厚生として製品の導入。

学ぶ・行動する



- 「明日 わたしは柿の木にのぼる」で培った知見・データや企業とのネットワークを活かして、働く女性のヘルスリテラシーに関する講座・研修プログラムを制作。「講座・研修」は「つまらない」「面倒くさい」という印象が強いため、思わず笑ってしまったり「よし、やってみよう」と思えるようなワクワクする新たな仕掛けを実施予定。

【例】

身体を知る

- ・ 女性ホルモンなど女性特有の特徴を学ぶ
- ・ 女性特有のライフイベントを学ぶ

仕事への影響を把握する

- ・ 日々の仕事への影響を把握する
- ・ 長期的なキャリア形成への影響を把握する

自分に合った方法を取り入れる

- ・ ヘルスリテラシー向上を図る

- キャリアコンサルタントの方々と普及にあたっての連携を構築。

地方での仕組みづくり



- 単に単発のイベントやムーブメントのみではなく、長期的に地方で女性活躍を推進するためのフェムテック活用を「仕組み」としてどう構築していくことができるか、が大切。これが移住促進にも資する。
- そのため、福島県をはじめとした地方での「仕組み」づくりとしてできることを、金融機関、メディア、自治体、地元企業の皆様と意見交換を実施する。
- 短期的には、意見交換と各種イベント等での連携を検討中。

生理の回数って増えてるの？！

月経カップってなに？！

想像以上に働く女性も男性も

生物学的女性の働く上での「ヘルスリテラシー」に関する知識を知らない。

生物学的女性の「キャリア」と「身体の仕組み」が教育上紐づいていない日本。

更年期って誰でもくるの？！

男性上司の理解を得られない

5 ご連絡お待ちしております

①既存のフェムテックサービスとの連携

②小冊子の配布や各種イベントでの連携

③講座・研修プログラムの試行的導入

④地方での女性活躍・それを踏まえた移住促進施策の仕組み構築における連携

「明日 わたしは柿の木にのぼる」
instagram



まずは意見交換からでもご連絡お待ちしております。

info@hito-bito.jp